

元議第129号

令和2年1月28日

大町市消防団

団長 川上 昇 様

大町市議会議長 中牧 盛登

議会との意見交換会で出された意見・要望等の行政側回答について（報告）

厳冬の候、貴団におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当市議会へのご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年12月17日付元議第117号にてご報告した件につきまして、行政より回答がありましたので、改めまして報告いたします。

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
1. 消防団活動報酬の増額	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時における団員の安定的確保と、団員のやる気をもてるため、消防団出動手当の増額をお願いしたい。 	<p>県内の他市の状況を勘案するとともに、消防団の要望等も確認して検討します。</p>
2. 団員確保への協力	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員確保については、消防団独自の活動を展開しているが限界がある。市も団とともに、具体的な確保策を考え、対応いただきたい。 	<p>より効果的な消防団員確保対策を、全国の先進事例も参考として、団とともに研究します。</p>
3. 消防フェスタへの助成金増額	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災・危機意識発揚のために、消防フェスタを充実させ、盛り上げる必要がある。市においては、更なる財政支援をお願いしたい。 	<p>第10回の節目を迎えるにあたり、今回に限り、負担金を増額することとします。</p>
4. 出初式式典の改善	<ul style="list-style-type: none"> 市が主催する式典ではあるが、団員の意向を優先尊重すべきである。そのため、式典の簡素化に向けた検討をお願いしたい。（例えば、挨拶者は県議と議長を隔年にするとか、挨拶する人数を減らすなど。） 	<p>令和2年消防出初式から、来賓挨拶を3名減らし、4名としました。</p>
5. 防災教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 近年、全国各地で大型災害が連続発生している。市民の危機・防災意識を高めるため、現実に即した市民への防災教育の実施をお願いしたい。 小さな頃から行うことが重要であり、その防災への意識づけが、市民の防災意識を高め、防災減災対策の強化に繋がり、結果として家族や地域を災害から救うことにつながる。あらゆる機会での、有効な防災教育の実施をお願いしたい。 	<p>平成30年度から取り組んでいる、防災士資格取得事業を継続し、防災士の皆さんと消防団員による防災教育の充実に努めます。</p> <p>国では、小中学校の社会科や理科、総合など様々な教科の中で、防災の目的に沿った多様な要素を入れた防災教育を進めており、この方針に沿って防災教育の充実に努めます。</p>
6. 防災マップの更新	<ul style="list-style-type: none"> 市の作成した防災マップとマニュアルは、国の指針に沿ったものであるが、義務的対応に留まっている。想定を超えた大規模災害が現実的に発生している現状を鑑み、市民の指針とすべく、より実態に即した防災マップとマニュアルを早期に更新し、全戸に配布・周知いただきたい。 	<p>現在、市HPに公開している防災マップは、随時最新の情報に更新しています。必要に応じて自治会、自主防災会単位において、拡大印刷し、提供しています。今後、魅力ある防災マップの作製について、検討します。</p>